

日本赤十字社鳥取県支部 令和4年度事業実施概要

《令和4年4月1日～令和5年3月31日》

1 災害救護活動

赤十字に課せられた使命である災害救護活動を迅速かつ適切に実施できるよう救護班要員の任命・訓練（研修）を実施し、救護資機材の整備・充実に努め、救護体制に万全を期している。

また、災害義援金の受付等、指定公共団体として多岐にわたる役割を担っている。

今年度は新型コロナウイルス感染症に注意を払いながらも、コロナ禍前のような参集型及び圏域を越えた訓練や研修を実施した。

(1) 救護班要員の登録

※（ ）は再掲

施設	区分	災害対策本部要員	日赤災害医療センター	救護班要員 (常設救護班として5個班を登録)						血液供給要員	合計
				医師	看護師長	看護師	助産師	薬剤師	主事		
日本赤十字社鳥取県支部		7	(1)	0	0	0	0	0	0	0	7
鳥取赤十字病院		7	(5)	5	5	10	(1)	2	10	0	39
鳥取県赤十字血液センター		0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
合計		14	6	5	5	10	(1)	2	12	3	51

※救護班編成基準（1個班）

医師（班長）	看護師長	看護師	主事	計
1	1	2	2	6

(2) DMAT隊員の登録

※（ ）は統括DMAT隊員

区分	職種	医師	看護師	業務調整員	計
日本DMAT隊員		4(1)	15	8	27(1)
ローカル隊員資格のみ		0	3	3	6

(3) 災害見舞い品等の配付

○災害被災者に対する見舞品贈呈内規に基づく配布

・地区配布状況（令和5年3月31日現在） 10世帯、44人

毛布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	タオルセット
46枚	12セット	2セット	0セット	13セット

・救援物資在庫状況（令和4年3月31日現在）

毛布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	タオルセット
1,249枚	908セット	97セット	133個	76個

(4) 災害救護訓練への参加

名称〔主催〕	実施日	会場
大規模地震時医療活動訓練〔内閣府〕	9/30～10/1	和歌山県他
美保空港航空機事故対策総合訓練〔美保空港〕	10/27	美保空港
鳥取空港消火救難訓練〔鳥取空港〕	10/6	鳥取空港
とっとり防災フェスタ代替訓練〔県危機管理局〕	11/19	湯梨浜町
鳥取市国民保護訓練〔鳥取市危機管理局〕	11/23	鳥取市

(5) 救護員の養成、研修

ア 鳥取県支部主催

名称	実施日	会場	人数
救護班要員基礎研修会	4/28	鳥取赤十字病院	30
救護班要員応用研修会	5/15	鳥取赤十字病院	21
救護班要員応用研修会	7/3	鳥取赤十字病院	16
第1回災害対策本部研修会	9/4	鳥取県赤十字血液センター	6
第2回災害対策本部研修会	12/17	鳥取赤十字病院	24
第3回災害対策本部研修会	2/21	鳥取県支部	7
臨時災害対策本部研修会	6/16	鳥取県支部	3
臨時災害対策本部研修会	12/14	鳥取県支部	3

イ 本社・ブロック主催

名称	実施日	会場	人数
防災ボランティアリーダー養成研修	6/25～6/26	Web	1
日赤第5ブロック CoT 会議	11/5～11/6	広島県	2
日赤災害医療コーディネート研修	1/21～1/22	本社	1

(6) 臨時救護

出動件数	11回	派遣救護員 (看護奉仕団等)	23名	取扱傷病者	15名
------	-----	-------------------	-----	-------	-----

(7) 国内義援金取扱い状況

義援金名	件数	金額 (円)
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	2	48,080
令和4年7月豪雨災害義援金	1	15,701
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	11	744,525
令和4年台風第15号災害義援金	1	3,000
計	15	811,306

2 救急法等講習普及事業

救急法等各種講習会は新型コロナウイルス感染症への対策を徹底して開催。地域からの依頼に応じ、命と健康を守る知識や技術を普及し、事故防止思想の涵養を図った。

(1) 講習実施状況

救急法	種別	実施回数	受講者数	備考
	救急員養成 (12時間+検定)	2回	62名	62名合格
	基礎講習 (4時間程度)	5回	119名	119名合格
	短期講習 (1～3時間程度)	133回	3,666名	
	計	140回	3,847名	
水上安全法	種別	実施回数	受講者数	備考
	短期講習 (1～3時間程度)	4回	117名	
	計	4回	117名	
幼児安全法	種別	実施回数	受講者数	備考
	短期講習 (1～3時間程度)	17回	242名	
	計	17回	242名	
健康生活 支援講習	種別	実施回数	受講者数	備考
	短期講習 (1～2時間程度)	17回	247名	
	計	17回	247名	

(2) 赤十字防災教育事業
赤十字防災セミナー

実施回数	受講者
16回	483名

(3) 各種研修会開催状況

名称〔主催〕	実施日	会場
防災教育事業本社指導者養成研修〔本社〕	10/1～10/2	本社
防災教育事業本社指導者養成研修〔本社〕	10/6～10/7	本社
赤十字防災教育事業主任指導者研修〔本社〕	5/10	Web
赤十字防災教育事業主任指導者研修〔本社〕	11/8	本社

3 赤十字奉仕団の育成事業

赤十字奉仕団は、赤十字精神に基づいて、人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織であり、地域ニーズに合わせた奉仕活動や、赤十字事業の普及推進を行っている。更なる奉仕団活動の活性化を図るため、また、奉仕団員の資質を高めるための各種研修会・講習会等を積極的に行った。

(1) 結成状況

種類	団数	団員数(人)		
		男性	女性	計
地域奉仕団	38	138	1,353	1,491
青年奉仕団	3	25	96	121
特殊奉仕団	14	144	203	347
計	55	307	1,652	1,959

(2) 委員会・研修会の開催状況

〔鳥取県支部主催〕

名称	実施日	会場	人数
西部地区第1回赤十字奉仕団委員長会	7/8	米子市淀江町	18
東部地区第1回赤十字奉仕団委員長会	7/14	八頭町	21
東部地区第2回赤十字奉仕団委員長会	11/24	〃	20
中部地区第1回赤十字奉仕団委員長会	9/8	倉吉市関金町	13
中部地区第2回赤十字奉仕団委員長会	10/27	〃	7
中部地区第3回赤十字奉仕団委員長会	12/8	〃	12
赤十字奉仕団支部指導講師研究会	5/16	鳥取市	8
	7/21	〃	7
	10/12	〃	7
	R5.2/10	倉吉市	8
赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	10/19	倉吉市	51
赤十字防災ボランティア研修会	12/2	〃	42
東部地区赤十字奉仕団基礎研修会	9/29	八頭町	44
中部地区赤十字奉仕団基礎研修会	11/8	倉吉市関金町	32
西部地区赤十字奉仕団基礎研修会	11/20	米子市淀江町	39
赤十字奉仕団鳥取県支部常任委員会	R5.3/15	倉吉市	19
赤十字奉仕団鳥取県支部委員会	R5.3/15	倉吉市	49

〔本社主催〕

名称	実施日	会場	人数
赤十字奉仕団中央委員会	5/30～5/31	Web 開催	1
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/14～7/15	本社	1
青年赤十字奉仕団全国協議会（第1回）	4/23～4/24	Web 開催	1
青年赤十字奉仕団全国協議会（第2回）	9/22	Web 開催	1
赤十字防災ボランティアリーダー養成研修	6/25～6/26	Web 開催	1
赤十字奉仕団支部指導講師研修会	R5. 1/28～1/30	本社	1

〔中・四国ブロック主催〕

名称	実施日	会場	人数
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6/4～6/5	香川県	1
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	11/19～11/20	岡山県	1
中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会	9/27	Web 開催	2
中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	12/1～12/2	香川県	1

（3）奉仕団特別事業 ※主な事業を抜粋

事業名	鳥取県青年（学生）赤十字奉仕団連絡協議会研修会		
期日	12/3	場所	とりぎん文化会館
参加者	38名		
内容	赤十字救急法や防災セミナー等を通して青年奉仕団員の資質を高めた。		

4 青少年赤十字の育成事業

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界平和と人類の福祉に貢献できるよう、自主的に自ら考え行動できる豊かな人間性を育むことを目的とし、様々な活動を学校教育の中で展開している。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防策を講じながら、学校行事が再開した後半より、参加人数を制限しながら、オンライン等も活用した青少年赤十字を育成強化するための、指導者や児童・生徒に対する研修会、講習会等を実施した。

（1）加盟状況

	幼稚・保育園	小学校	中学校	高等学校	計
学校（園）数	2	7	4	9	22
メンバー数	99	2,322	845	696	3,962

（2）リーダーシップトレーニングセンター

小・中学校…中止、高等学校…延期中

（リーダーシップトレーニングセンター代替事業）

名称	実施日	会場	人数
「JRC 出前講座～赤十字について学ぼう！～」（小・中学校）	11/28	岩美西小学校	22

（3）研修会等の開催

ア メンバー（本社主催）

名称	実施日	会場	人数
青少年赤十字創設100周年記念 令和4年度国際交流事業（第2部）	11/5～11/6 ※第1部は不参加	国際ファミリープラザ	9

イ メンバー（県内）

名称	実施日	会場	人数
西部地区高等学校 J R C 第 1 回生徒代表者会議	4/29	米子市福祉保健総合 センターふれあいの里	17
鳥取県高等学校青少年赤十字 交歓研修会	5/30	鳥取県立武道館	46
西部地区高等学校 J R C 第 2 回生徒代表者会議	10/22	米子市福祉保健総合 センターふれあいの里	19

ウ 指導者（本社主催）

名称	実施日	会場	人数
青少年赤十字全国指導者協議会総会及 び研修会	6/29	Web 開催	2
中国・四国ブロック青少年赤十字指導 者協議会並びに支部担当者会議	11/10～11/11	Web 開催	2

（県内）

名称	実施日	会場	人数
高等学校 J R C 第 1 回顧問会	4/20	米子市福祉保健総合 センターふれあいの里	10

（4）青少年赤十字創設 100 周年記念事業（県内）

名称	実施日	内容
青少年赤十字創設 100 周年企画 「みんなで繋ごう！～やさしさ の寄せ書き旗～」	5 月～12 月	県内の加盟校による寄せ書き旗の作成
青少年赤十字創設 100 周年記念 絵画コンクール	7 月～9 月	県内の加盟校を対象に実施 応募数 121 作品（入賞 13 作品）
青少年赤十字創設 100 周年記念 絵画コンクール入賞作品授賞式	令和 5 年 1 月 21 日	入賞者への授賞式を実施 出席者 40 名（来賓・家族等含）

5 献血思想普及事業

県内に、鳥取県赤十字血液センターを設置し、献血への正しい理解を広め、献血者を確保し、採血業務及び血液製剤の供給を行っている。当支部では、献血思想の普及のための事業を行い、血液事業の推進に努めた。

（1）献血推進功労団体等に対する支部長表彰

実施日	7/21	会場	鳥取県庁	表彰数	2 法人
-----	------	----	------	-----	------

6 国際活動

日本赤十字社は、自然災害や紛争により被害が発生した場合、赤十字国際委員会及び国際赤十字・赤新月社連盟の要請に応え、救護活動を行うとともに発展途上国に対する開発援助を実施している。

当支部では、本社の行う国際救援活動の一翼を担うため、中国・四国各県支部（第 5 ブロック）合同による支援事業を行った他、海外救援金の募集を行った。

（1）アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

【令和 4 年度事業費総額 2,000 万円（第 5 ブロック負担 700 万円）】

鳥取県支部拠出金 534,579 円

- (2) NHK海外たすけあい
NHKと日本赤十字社が1983年から毎年12月(1~25日)に共同で実施
協力件数：84件 金額：606,546円

(3) 海外救援金

救援金名	件数	金額(円)
ウクライナ人道危機救援金	116	5,262,455
2022年パキスタン洪水救援金	2	12,000
アフガニスタン人道危機救援金	1	510
2023年トルコ・シリア地震救援金	67	4,210,087
計	186	9,485,052

7 社業振興事業

日本赤十字社は、会員をもって組織される民間団体(認可法人)であり、人道的任務達成のための諸事業を推進している。その財政基盤は、会員が毎年拠出する「会費」と一般からの「寄付金」により支えられている。本年度も赤十字思想の普及を図り、一人でも多くの人々により深く赤十字活動についての理解を得て、財政的な支援を求める運動を展開した。

- (1) 赤十字運動月間の実施(令和4年5月1日~31日)
 ア 広報紙「赤十字とっとり」の作成(192,000部)
 イ 法人用活動資金募集リーフレットの作成(500部)
 ウ 赤十字運動月間周知キャンペーン
 (県下19全市町村奉仕団を中心に実施。広告入りポケットティッシュ23,000個作成)
 エ 鳥取県庁前大型電光掲示板、中電ふれあいホール大型ビジョンを活用したPR
- (2) 活動資金増強の取り組み
 ア 法人設立年の節目にあわせた社会貢献寄付の推進
 イ 赤十字寄付金付き自動販売機の設置推進(県内各企業訪問によるアプローチ)
- (3) 各種委員会、研修会等開催・参加状況

名称	実施日	会場	人数
地区・分区事務担当者研修会	中止		
全国赤十字大会	R4.5.19	明治神宮会館	4
第104回日本赤十字社鳥取県支部評議員会	R4.6.13	鳥取赤十字病院	25
地区長・事務担当者合同会議	R5.2.2	倉吉市社会福祉協議会	20

(4) 鳥取県赤十字有功会

名称	実施日	会場	人数
第47回総会	R4.8.3	ANAクラウンプラザホテル米子	23

(5) 法人社資募集

法人社資実績*10,046,798円

【DM発送(R4.11)】

送付数	応諾数(率)	社資実績
1,982件	716件(36.13%)	7,865,897円

(6) 広報関係

- ア ホームページによる情報提供
 イ 新聞広告の掲載
 ウ ポスター掲示(支部・施設、地区分区、奉仕団、有功会法人会員)
 エ 赤十字パネル貸し出し事業
 オ 赤十字会員(2,000円以上の活動資金協力者)へ赤十字NEWS等の配布による情報提供

8 人権啓発活動

世界中で感染の拡大が続いている新型コロナウイルスによる感染症。当支部では、この感染症の“負のスパイラル”を知り、断ち切るためのガイドとして作成された「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を用いて、人権研修の講師を派遣した。

団体名	実施日	会場	人数
鳥取市人権啓発企業連絡会	R4 11/21	鳥取市人権交流プラザ	30名
倉吉市社会福祉協議会	R5 3/6	倉吉市社会福祉協議会	36名